

《埼玉協同病院だより》

ふれあい

2011年7月1日

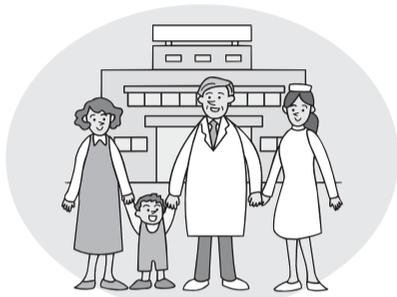
発行：埼玉協同病院
〒333-0831 川口市木曾呂1317
Tel.048-296-4771
Fax.048-296-7182

285

おもな記事●節電／生協コーナー「健康らいぶらり」
皮膚科から／命の授業公開講座
健康マメ知識／虹の投書箱だより／連絡バス時刻表

健診のご案内

さあ、がん検診に行こう!



7月1日より川口市、鳩ヶ谷市がん検診が始まります。がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減少させることです。自治体の制度を利用してがん検診に行きましょう。川口市、鳩ヶ谷市にお住まいの対象年齢の方は自分にあわせて検診の予定をたてましょう。

肺がん

今年は肺がん検診が医療機関委託方式で新たにはじまります。40歳以上の方が対象です。また、50歳以上で長くタバコを（1日平均20本以上）吸っていた方や、鋳物、じん肺、アスベスト、粉塵環境で仕事をしたりリスクの高い方は喀痰検査を追加して受けることができます。新しく始まったがん検診です。受診計画の中に入れてみましょう。

大腸がん

もうひとつ、今年新たに始まった制度があります。大腸がん検診の無料クーポンが発行されます。4月1日時点で、40、45、50、55、60歳の5歳刻み年齢に該当する方です。無料クーポンが配布された方はこのクーポンが大腸がん検診を受診する際に必要となります。自治体から届いたら大いに活用しましょう。

胃がん

胃がん検診は川口市、鳩ヶ谷市ともに集団検診です。自治体広報をよく読んで申し込みましょう。都合の合わない方は医療生協さいたまの胃検診をおすすめします。

子宮がん

子宮がん検診は昨年と変更がありません。自

分の体調に合わせて受診しましょう。子宮がん検診のみご希望の方には午後に臨時枠をもうけて対応していきます。ご相談ください。

乳がん

乳がん検診はマンモグラフィ検診を受けましょう。自治体乳がん検診は事前申し込み制です。すでに受付期間が終わっています。申し込みを忘れた方は医療生協さいたまの乳がん検診を受けましょう。今年から新たに、マンモグラフィと乳房エコーをセットにした検診をスタートさせる予定です。9月までには案内ができるよう準備をすすめています。

健康診断で精密検査や再検査の判定となった方は、異常をそのままにせず、受診しましょう。

問い合わせ：健康増進センター ☎048-296-4880

7～8月はサマー増資月間です

サマー増資にご協力お願いします!

毎年7～8月を「サマー増資月間」として、増資のお願いのキャンペーンを行っています。生協コーナーや各診療科、病棟や地域においてお声かけしております。みなさまのご理解、ご協力をお願いします。

2010年度は、完成したF館が本稼働し、手術件数も外科・整形外科・産婦人科・泌尿器科で1,726件（2009年度1,530件）と実績を大きくのびすことができました。これもみなさまの出資金のおかげで、年々医療設備が整ってきた結果です。同時に、救急車の受入れ台数も過去最高となり、昨年度を900台近く上回る3,700台を受入れ、より多くの患者様の診療を行うことができました。

今年度は新たに、MRIの増設を計画。検査予約までの待ち時間も短縮され、スムーズな

検査の実施が実現します。また、高画質でより早期での病気の発見が可能となります。8月には「健康らいぶらり」(2面参照)も整備され、患者様ご自身のカルテ閲覧や、医療生協、医療の情報などが得られるようになります。

東日本大震災発生直後から継続してきた支援活動では、医師13名、看護師14名をはじめ、のべ49名の職員を埼玉協同病院から送り出すことができました(6月現在)。被災地支援のスタッフを送り出せたのも医療生協の力と多くの組合員さんの協力のおかげです。

出資金は「寄付」ではありません。寄付との違いは、出資することによって、生協の運営に参加する権利を得ることによりま



会計横に被災地支援の様子を掲示中

す。出資することで組合員になることができ、組合員として医療生協の運営や活動に参加し、意見を発信する権利が生まれます。

集められた出資金は、最先端の医療機器の導入等に活用し、安全でよりよい医療を目指します。

ひとりでも多くの方に出資金に協力していただけるよう、増資封筒をお配りしています。組合員が「出資して、意見を出して、利用する」医療生協の病院づくりにぜひ参加してください。

当院は積極的に節電に取り組みます

東日本大震災により、東京電力及び、東北電力管内の供給力は大幅に減少しています。これにより今夏の電力の需給バランスは悪化する見込みとなっています。電力不足対策として東京電力と東北電力管内で500キロワット以上の大口需要家に発動する15%の電力使用制限令が出されましたが、病院や鉄道など国民生活への影響が大きい分野を除外・緩和対象にすることが決まりました。

しかし埼玉協同病院では電力使用量削減を目指し、取り組んでいます。そのスタートとして5月25日に節電学

習会を開催。各部門の代表者が参加し、節電対策について学習と交流を行いました。例えば空調では温度設定を28℃とすることや、照明の間引きをします。またエレベーターは2台設置しているところは1台の運行に。

診療や療養環境などにはなるべく影響がでないように節電に取り組んでいます。組合員さんや利用者さんにはご迷惑をかけることもあると思いますが、小さな取り組みが大きな力となります。今夏を乗り切るために、是非みなさんのご協力をよろしくお願い致します。

生協コーナーが生まれ変わります 名前は「健康らいぶらり」に決定!

生協コーナーの場所に、健康に関する総合的な情報のコーナーができました。名前は「健康らいぶらり」です。名称をお寄せくださったみなさま、ありがとうございました。らいぶらり(Library=図書館)には、「ライブラリー」(Lively=生きいきとした)と情報を探しに「ぶらり」と立ち寄れる場所、という意味がこめられています。

コーナーは大きく2つに分かれます。ひとつは医療生協の活動にふれ、健康で生きがいのある暮らし(医療生協の健康観)との出

会いの場です。地域での活動に触れ、健康チェックやサークル活動などを紹介しています。午前中は日替わりで地域の組合員さんとも交流できます。

もうひとつは病気をよく知り、病気と向き合い、医療の主体者として自分のことが決められる、自己決定に役立つ情報(患者の権利章典)との出会いの場です。自分のカルテ(※)を見て理解するのに必要な情報や、役に立つ情報源などを紹介しています。

(※)自分で見られるカルテと情報タッチパネル画面は8月ごろ開始予定です。

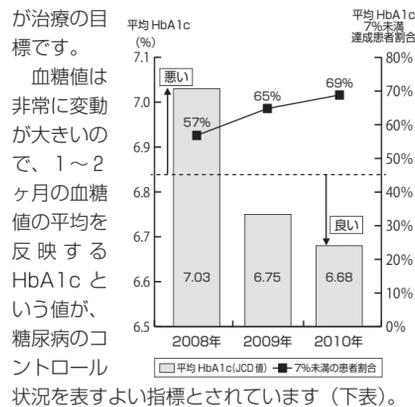
「クリニカルインディケータ」をご存知ですか?

クリニカルインディケータとは、医療の質を定量的に評価する指標のことで、医療の質の良否を客観的に測ることのできる「ものさし」にあたります。

ある医療行為などを行なった全対象を分母として、得られた「望ましい結果(望ましくない結果)」やそのプロセスの適切さの程度を「比率で」表します。そうすることで、他の施設や世の中の標準と比較することができます。

埼玉協同病院では、2005年から300項目以上のクリニカルインディケータを設定して、医療水準・質の面での改善課題や引き上げ目標を明確にしてとりにくんでいます。

今月から、少しずつ、紹介していきたいと思



が治療の目標です。血糖値は非常に変動が大きいので、1~2ヶ月の血糖値の平均を反映するHbA1cという値が、糖尿病のコントロール状況を表すよい指標とされています(下表)。

埼玉協同病院の糖尿病外来に通院している2型糖尿病の患者様は約2800人です。上のグラフはその治療状況の3年間の推移です(6ヶ月以

指標	優	良	可		
			不十分	不良	不可
HbA1c (%)	5.8未満	5.8~6.5未満	6.5~7.0未満	7.0~8.0未満	8.0以上

~糖尿病治療の状況を見てください~

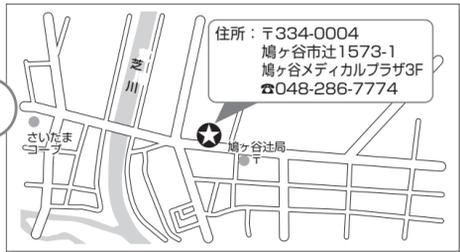
糖尿病は、血糖値を適正にコントロールして、網膜症や腎不全、末梢神経障害などの細い血管の変化によって起こる合併症を予防するの

上通院している方の6~7月の値)。

棒グラフは、6ヶ月以上通院している患者様の平均値です。2009年、2010年とデータが改善しています。糖尿病データマネジメント研究会が2007年に行った調査では(60施設、約4万人のデータ)、平均HbA1c値は6.85%(グラフ点線)という結果でしたので、これに比べてもよくコントロールできていることがわかります。折れ線は、7%未満にコントロールできている人の割合で、約3分の2の方がコントロール目標を達成しています。

当院は学会で認められている糖尿病指導医および専門医4人と、10人の糖尿病療養指導士が、チームを組んで患者様の療養をサポートしています。達成状況を見ながら、HbA1c 8%以上のコントロールの悪い人への働きかけを強めたり、自己血糖測定(患者さん自身が血糖をはかりコントロールする)の指導方法を見直してきました。また昨年は、インスリン注射を実施している患者様の、実際の注射方法を調査して、正しい方法を指導するなどにも取り組みました。その結果が数値の改善に表れているといえます。

当院と医療連携している 12 開業医さんのご紹介 はとがや緑内科クリニック



住所: 〒334-0004 鳩ヶ谷市辻1573-1 鳩ヶ谷メディカルプラザ3F ☎048-286-7774

【診療科】 内科 / 消化器科 / 循環器科 / アレルギー科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	—	○ _※
午後 3:00~6:30	○	○	○	○	—	—	—

(予約検査) 月~木 午後2:00~3:00
※日(午前9:00~12:30)
【休診日】 金曜午後、土曜、祝日、第1木曜日の午後、第5日曜
【HPアドレス】 <http://www.midorinaika.com>



藪剛院長

いくつもの総合病院で消化器(主に肝臓)および総合内科医として研鑽して参りました。生活習慣病(高血圧、糖尿病、高脂血症など)から専門の消化器疾患など、研究や経験をもとに1人1人の患者様に最適な治療を提唱できる医療を目指しています。患者様により病気の理解をし、治療に専念してもらうために、映像(絵やグラフ)を使用しながら丁寧に分かりやすく説明することを心がけています。また、C型・B型肝炎のインターフェロン治療や胃・大腸などの消化管内視鏡検査などの専門治療も実施しています。

埼玉協同病院には、いざというときの対応や入院治療など救急病院としての更なる役割向上を期待しています。 院長: 藪 剛

*「ふれあい」に掲載の開業医さんを受診される際は、受診前に必ず問い合わせをお願いします。

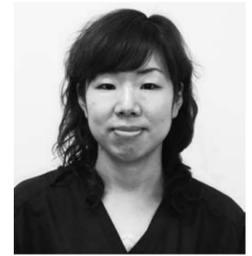
皮膚科からのお知らせ

皮膚は一番大きな臓器です

はじめまして。2年前から週に1回、外来診療をさせていただいていましたが、今年4月より皮膚科常勤勤務となりました田中純江です。金曜日以外はほぼ毎日、診療にでています。埼玉協同病院で内科を中心に初期研修を実施し、その後は、埼玉医大の川越総合医療センターで皮膚科の専門研修を行ってきました。研修先の指導医に皮膚は全身の臓器で一番範囲が広く、大きな臓器であると言われ、研修をするうちに、皮膚科は皮膚だけでなく、全身を診る、

内科に近いものだと思います。また皮膚科の疾患は種類が多く、また皮膚の所見から内臓疾患がみつかることもあり、とてもやりがいのある仕事だと思っています。

外来受診時にはなかなか疑問点などを医師に直接聞くのは難しいようですが、なるべく、患者様が言い出しやすい雰囲気できるように心がけていきたいと思っています。お気軽に話をしてください。その場で答えられない難問?には後日、調べてから説明させていただくことも



田中純江医師

あるかもしれませんが、その点はご了承ください。午前中は外来診療を、午後は手術を中心に診療しています。外来診療はこの時期としては、花粉や紫外線による皮膚炎、お子様では水いぼが多いように感じます。水いぼの処置は痛みを伴いますが、皆、帰りには手をふってバイバイしてくれ、ちょっとした癒しの時です。

みなさんに顔を覚えてもらえるようにがんばっていきなさいと思いますので、よろしくお願

命の授業公開講座

日程 8月6日(土)
時間 受付13:30~ 開始14:00 終了15:00
場所 埼玉協同病院ふれあい会館1階
料金 1人100円(場所、講義料として)
対象者 小学生(希望があれば就学前も可。基本的には保護者同伴をお願いします。お子さんごみの参加であれば送迎をお願いします)。

- んがいるってどんな感じ?
- ④赤ちゃん誕生の瞬間(DVD鑑賞)
- ⑤命の大切さについて



- 授業内容
- ①命のもとはどこにあるの?
 - ②命のはじまりとおなかの中の赤ちゃんの様子
 - ③おなかの中に赤ちゃん

夏休みの自由研究にもいかがですか? たくさんのご参加お待ちしております!! 参加締め切りは開催日の1週間前です。参加ご希望・お問い合わせの方は下記アドレスまでメールにてお知らせください。

メールアドレス: inochi@mcp-saitama.or.jp

埼玉協同病院産婦人科 命の授業担当

虹の投票箱 虹の投票箱 虹の投票箱

すばやい節電対策・東北支援、さすがです

夜間、屋上の「埼玉協同病院」の電気が消えていることに、さすがと思

ご意見ありがとうございます。震災後より積極的に節電に取り組んでいます。院内のエレベーターも2機並んでいる場所は1機を停止しています。照明も少なくしています。ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。夏を迎えて、一層の電力不足が懸念されます。療養環境を守りながら節電に努めてまいります。また、テレビで当院の東北支援の取り組みをご覧いただいたとのこと、ありがとうございました。震災直後の3月13日から支援チームを送り、現在も様々な形で継続しています。皆様にも、引き続き物心両面でのご支援をお願いいたします。 回答者: 内村 幸一(事務長)



第115回

- 妊娠中の放射線の影響 ●

X線検査を受ける際、妊娠していますかと聞かれることがあるかと思

ここでは、妊娠中の放射線の影響を紹介します。放射線被ばくによって、発生する胎児への影響は、表に示すように時期によって異なります。しきい線量というのは、その値を超えると影響が与えられる可能性(1~5%)があるという最低限の被ばく線量のことです。

胎児期の区分	時期	影響	しきい線量
着床前期	受精~9日	胎死亡(流産)	100mGy
	2週~8週	奇形	100mGy
胎児期	8週~15週	精神発達遅延	200mGy
	8週~出生	発育遅延	500mGy

表を見ていただくと、胎児が100mGy(ミリグ

レイ)以上の被ばくを受けると影響が与えることが分ります。実際のX線検査における胎児の被ばくがどの程度であるか示します。

検査の種類	胎児の被ばく線量	検査の種類	胎児の被ばく線量
腹部レントゲン	0.24mGy	頭部CT	0.00mGy
胸部レントゲン	0.00mGy	胸部CT	0.05~0.5mGy
骨盤計測	2.08mGy	腹部CT	15~30mGy

表を見ると、100mGyをはるかに下回ることが分ります。また、胎児への影響は1~2日といった短時間で被ばくがあったときに問題になるもので、長い期間の被ばくの合計ではありません。よって、一般におこなわれるX線検査においては、胎児に被ばくの影響が与えることはまずありません。

*Gy(グレイ)とは、X線撮影などの人工の放射線が物や人に当たったとき、どれくらいのエネルギーを与えたかを表す単位

